



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第16号
校長 齋藤 啓悦
令和 3年 7月 16日

地域の声を生かした学校づくり

◆地区生徒会(6/28) 六中学区自治会長会(6/29)

6月28日に、17地区(浜田学区2、泉学区5、富士見学区10)の自治会長さんの皆様からご出席いただき、生徒が住んでいる地域ごとにわかれ、「地区生徒会」を行いました。

地区ごとに行う地域貢献活動について話し合いましたが、夏祭りの中止を受け、今年度の活動も縮小せざるを得ない地区がほとんどのようです。活動が制限される中ですがご協力をよろしくお願いいたします。



また、6月29日は六中学区の自治会長さんの総会に学校から5名の教職員が出席し、学校生活の様子、地域貢献活動、教育後援会の活動等について説明を行い、その後、意見交換を行いました。

意見交換では、地域懇談会がなくなり、学校と地域の接点が少なくなったとの声がありました。昨年度からコロナ禍のため、地域の会合や行事も中止、学校行事への来校も制限されるなどの要素も加わっています。また、教育後援会の会計執行についてもご意見をいただきました。自治会の皆様からの多くの協賛金により生徒の活動を支援していただいております、今後も適正な会計執行に努めてまいります。

また、通学路の安全確保についてもご意見をいただきました。学校でも危険箇所については同じ通学路で通学する小学校やPTA活動として、確認を行うことも検討していきたいと考えています。

◆主任児童委員会(7/1) 今年度も3名の方々にお願いしています

昨年度に続き、今年度の主任児童委員は、浜田学区が杉山道弘さん、泉学区が渡部美恵子さん、富士見学区が大泉さるさんの3名にお願いしています。校長から学校の教育目標や今年度の重点、また、学校生活全般及び生徒の様子について説明しました。

生徒については学校での配慮のほか、家でも温かく見守ることの大切さなどご助言いただきました。また、一人一台端末(タブレット)の活用についても話題になりました。

民生委員の皆様を含め、今後も連携しながら生徒及び家庭の見守りをしていきたいと思っております。

◆教育後援会理事会(7/6) 多数ご出席いただきありがとうございました

今年度第1回の教育後援会理事会を7月6日に開催しました。教育後援会は、学校の教育活動を促進するため、経費の援助や教育環境の整備を目的としています。主な収入は、全校生の会費、自治会からの協賛金、市からの補助金(大会派遣費の補助)などです。特に自治会の皆さんからは中学生の在籍に関わらず、各家庭や自治会単位で協賛金をいただいております。この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。

理事会では「設備助成費」の執行について話題になりました。ユニホームなどの高額な支出については、各部活動の希望を聞きながらローテーションを確認し、適正に執行していくことを確認しました。

また、昨年度の引継ぎで、監事に自治会長会より1名加えるということで、監事が3名から4名に代わりました。このため、規約第5条が一部改正となります。



◇地域の皆さんの声から(直接電話をいただきました)

○休みの日に散歩していたら、六中ジャージを着た男子から元気よくあいさつされ、とても嬉しかった。六中生みんながこうなのかと感心した。

○車にガソリンを入れた後、キャップを閉め忘れて家に帰った。それに気づいた六中生がわざわざ玄関まで来て、キャップが外れていることを教えてくれた。そのままでは危なかったのだたいへんありがたかった。

○信号機のない交差点で、男子3人が横断しようとしていたので、車をとめて通したら、小雨の降る天気が悪い中でも、立ち止まって、あいさつをしてくれました。大変気持ちよかったです。車に小学校低学年の子どもを乗せていて「えらいね」という話になりました。

△「横断歩道のないところを横断していた」「学校帰りに川で石を投げて遊んでいた」「自宅敷地を通過して下校していった」との声もいただき、生徒に注意喚起を行いました。(その後名乗り出てくれました)